

# 平成 30 年度化学教育賞・化学教育有功賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

## 1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および化学教育賞等選考委員会規則により、次の通り定められている。

- (1) 化学教育賞は、原則として本会会員であって、国際的または全国的視野において化学教育上とくに顕著な業績または功績のあった者に授与する。
- (2) 化学教育有功賞は、本会会員に限らず、化学教育に従事し、その組織または地域において教育上顕著な業績または功績のあった者、もしくは独創的な着想に基づく教育や評価方法の考案によって教育上、顕著な貢献のあった者に授与する。

## 2. 提出書類〔返却しない〕

- (1) 支部長あて候補者推薦書（所定の用紙を使用）
- (2) 会長あて候補者推薦書（所定の用紙を使用）
- (3) 候補者の履歴：特に教育に従事した経歴を書くこと。
- (4) 業績内容説明書（以下の原稿用紙については、A4判（40字×40行）の別用紙で作成してもよい）

用紙4枚以内に次の事項をまとめる。

- (a) 化学教育賞：受賞の対象となる業績・功績内容および候補者が国際的、全国的に与えたインパクトなど。
  - (b) 化学教育有功賞：受賞対象となる業績、功績内容および候補者の化学教育における優秀性、候補者の特筆すべき点など（例えば特別な教育方法、評価方法や科学教育一般についてのアイデア、貢献、同僚や学生に与えた影響など）。
- (5) 業績目録：受賞対象となる事項に関連した論文、報文、総説、著書などのリスト（20件以内）。

なお、論文などの別刷、報告書等、また、候補者に対する他機関（例えば、新聞等）の評価を記したもののうち5点以内を各15部、15組セットにする。コピーでも可。

## 3. 書類執筆上の注意

- (1) 清書は、ワープロ印書（40字×40行）とすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 会長あて候補者推薦書の推薦支部、支部長の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。＊本年度の各支部長名は次頁に記載。
- (4) 化学教育賞・化学教育有功賞の別は、該当を○で囲むこと。
- (5) 候補者氏名、勤務先と職名欄は日本語と英語を記載すること。  
(記入例)

候補者氏名	(ふりがな) かがく たろう (日本語) 化学 太郎 (英語) Taro KAGAKU	会員番号	
		生年月日	西暦 年 月 日
勤務先と職名	(日本語) 東京大学大学院理学系研究科化学専攻：教授 (英語) Department of Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo : Professor		

- (6) 業績目録は、下記例のとおり記載し、論文、報文以外の総説、著書などは最後にまとめて記載すること。ただし、化学教育関係およびその他に分けること。また、候補

者に対する他機関（例えば、新聞等）の評価を加えてもよい。

〔例〕(10) 化学平衡の概念を理解させるための実験法の開発，丸尾貢章，  
化学と教育, **37**, 265 （1989）

(11) 読売新聞，平成 20 年 11 月 1 日付夕刊切抜

(7) 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦書」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を 1 頁目とし、「候補者の履歴」、「業績内容説明書」、「業績目録」の順に、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

#### 4. 推薦書提出先および提出締切日

推薦者が所属する支部の事務局へ提出する。

締切日は各支部によって多少異なるので支部事務局に確認すること。

#### 5. 平成 30 年度選考委員会開催日

平成 30 年 11 月 6 日（火）

#### \*平成 30 年度日本化学会各支部長（敬称略）

- ・北海道支部長 安住 和久
- ・東北支部長 芥川 智行
- ・関東支部長 市川 淳士
- ・東海支部長 小海 文夫
- ・近畿支部長 近藤 輝幸
- ・中国四国支部長 堤 宏守
- ・九州支部長 安中 雅彦

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持いたします。

なお、受賞者の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

以 上

# 化学教育賞・化学教育有功賞 候補者推薦書の作成に当たって

1. 適当な A4 判用紙に作成のこと。
2. 用紙の余白は左右約 2.5 cm とること。
3. タイトルを除いて 10 ポから 12 ポ程度の活字とすること。
4. 原稿は横書きとし、1 ページの行数は(40 字×40 行)程度とすること。
5. 「業績内容の説明」は、参考文献を別として 4 枚以内にまとめること。
6. 年号は全て西暦で統一すること。
7. 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦書」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「候補者の履歴」「業績内容説明書」「業績目録」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

# 推 薦 書

年 月 日

日本化学会  
支 部 長 殿

支 部

学 会 賞  
学 術 賞  
進 歩 賞  
女性化学者奨励賞  
化学教育賞  
化学教育有功賞

下記の者を 受賞候補者として推薦します。  
(該当を○で囲んで下さい。)

候補者氏名 (勤務先)	( )
----------------	-----

推薦者氏名 (勤務先)	印 ( )
----------------	----------

推薦者連絡先	(所在地) 〒  Tel.  FAX.  E-mail
--------	---

注) 推薦書は毎年更新していますので、平成 30 年度のものを使用してください。

整理  
番号

## 平成 30 年度 化学教育賞・化学教育有功賞 候補者推薦書

(該当を○で囲んで下さい。)

年 月 日

日本化学会会長 殿

支部 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
支部長

化学教育賞  
下記の者を 候補者として推薦します。  
化学教育有功賞 (該当を○で囲んで下さい。)

候補者	候補者氏名	(ふりがな) (日本語) (英語)	会員別	会員 No. <span style="float: right;">・非会員</span>	
			生年月日	西暦 年 月 日生	
	勤務先と職名	(日本語) (英語)			
	勤務先所在地	〒 Tel. FAX. E-mail			
	最終学歴		学位		
	現住所 (自宅)	〒 Tel. FAX. E-mail			
	連絡先	勤務先・自宅 (どちらかに○印を付けて下さい)			
	賞の対象となる 具体事項	(和文、20字程度) (英文)			
過去における 受賞歴					

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

1. 候補者の履歴

## 2. 業績内容説明書

### 3. 業績目録

受賞対象となる事項に関連した論文、報文、総説、著書などのリスト(20件以内)。  
なお、論文などの別刷、報告書等、また、候補者に対する他機関(例えば、新聞等)の評価を記したもののうち5点以内を各15部、15組セットにする。コピーでも可。